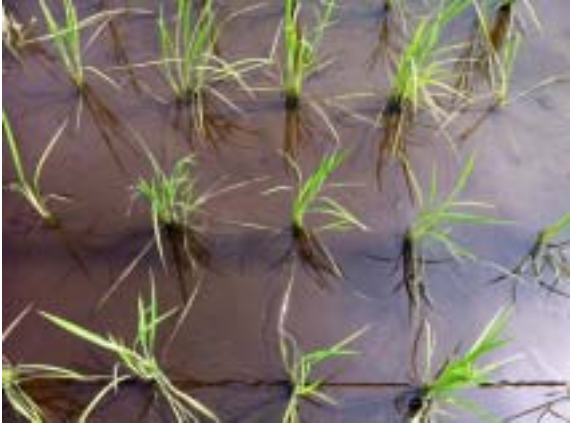


梅雨。人間には嫌な季節ですが、植物にとっては大切な季節。そして私たちにとっても、ちょっぴりペースダウンできる大切な季節です。皆様はいかがお過ごしでしょうか。



晴れの日、朝晩の田んぼ見回りが日課。水が減っていたら足し、溜まったら止めるわけですが、これが計算どおりにいかないことも多々。せっかく水を溜めようとしていても、隣の田んぼのおじいちゃんに勝手に止められていたり（我田引水ってやつです）、モグラが穴を開けていたり、草が通水用のパイプに詰まっていたり。メロンがパイプの口をふさいでいた時には思わず爆笑。産地ならではのハプニングです。九州地方を襲った先日の豪雨では、放したばかりのアイガモたちが心配になって、嵐の中も見回りに行きましたが、そこはさすがに水鳥。元

気に泳ぎまわっていました。水田の畦が一部壊れたのと、我が家の土間に浸水した被害がありました。どちらも半日で回復しました。さて今月は盛り沢山で、紙面拡大・増量版です！

まずは俳優の大地康雄さん来訪。名前を聞いてピンとくる方は少ないかもしれませんが、顔を見ればご存知の方も多はず。熊本出身で、「北の国から」にも出演、農業をテーマにした映画のプロデュースもされたことのある名脇役の大地さん。4年前、福岡のテレビ局が企画した番組で我が家を訪れて下さいました。ご本人の「メンバーが増えた大津家を再び訪れたい」との希望で、第二段を撮ることになったのだそうです。1歳だった桔平と連蔵は5歳になり、あの時は誕生していなかった讃太郎もすでに3歳。ここ数年の変化に改めて驚かされます。去年、一昨年と演劇ワークショップに参加した耕太は、大地さんと演劇談義で盛り上がりました。



お次は、今年の戦士・アイガモ。今年は去年の倍60羽がやってきました。箱に入ってヒナが到着。外に耐えられるようになるまで、2週間ほど屋内で育てます。子供たちはもちろん大喜び。せっせと餌や草をあげに行きます。ここ数年、コイがアオサギに狙われるようになり、昨年はほとんど壊滅状態。コイ（恋）がサギ（詐欺）にやられるなんて...と冗談めかしておりましたが、はっきり言って大失敗。すっかり味をしめたアオサギたちは、田んぼの準備をはじめたとたん、偵察（コイの予約？）に来たほど。鳥に向かって「今年はやられんバイ！」と

叫ぶ耕太。でもあちらもこちらも生活がかかっています。そんなわけで、今年はコイで除草する田んぼの数を減らし、アイガモの田んぼを増やすことにした、というわけです。小屋ですくすく大きくなっている間に田んぼや移動できる小屋の準備。そしていよいよ出陣です。しばらくキョトンとして様子を見ていましたが、あまりに魅力的な世界を前に、1羽また1羽と田んぼに飛び込んでいきました。せっせと虫や草を食べて大活躍中です。

ところで、問題は棚田。アイガモ用のネットが張りにくい上、アオサギの巣にも近いので、アイガモもコイも駄目。こうなればお次は...そう、エリ除草！動力付きの除草機を買おうか、という耕太に、いやちょっと待って、まずは燃料を使わない方法でやれるところまでやってみたい、と私。耕太は半ば呆れながらも、雑誌を参考にして「除草機」なるものを作ってくれました。この機械(?)を左右に揺らしながら、田んぼの中を引いていく、というわけ。かなりローテク(笑)。



田植え後、1週間ほどで稲が田んぼに根付きます。細くて弱々しく見えていた苗が、見違えるほどスクッと立ち、そして鮮やかな色に変わる「日」があるのです。あ、根付いたね、と。毎年、その変化に感動しています。その頃にはさっそく雑草の芽も。これが除草のタイミング。苗も多少は倒れますが、まだ小さい雑草だけが浮き上がってくるという理屈。見た目以上にきつい仕事で、これは絶対にやせる！と思ったのに、お腹が空いてたまらない。空腹だとはかどらないので、よく食べる。そんなわけで、除草の効果は今のところそこそこありますが、ダイエット効果はなし...。約1ヘクタールの除草を1週間おきに3~4回やります。7月に入れば稲が草にまけないようになるので、6月いっぱい勝負。私の「筋トレ」はまだ続きます。



エリ除草前(左)と、除草後(右)。小さい雑草が白い根ごと浮き上がっています。よしよし、いけそうぞ！さらにこの人も頑張っています。3歳から保育園に行く、と言っていたのに、誕生日当日に一度行ったきり「もう行かない」と保育園を中退？した三男です。お手製の除草機はけっこう重いので、昔からある「田押し車」というのが彼の仕事道具。「たおしぐるま」という単語を始めて聞いたとき、「倒し車」という漢字を思い浮かべた私は、耕太の嘲笑を受けました。あながち外れていないような気もするのですが！？

ところが、除草機をかけた後に回復するはずの苗が...。さすがにまだ根付いたばかりだったのか、倒れたまま溺れて消滅してしまった苗が多々。あわてて「め植え」と呼ばれる補植をします。め植え暦4年目でかなり様になっている長男。といっても、この瞬間はカエルを捕まえているんですけどね(笑)。



もう一つ問題が発覚。棚田の1番上の田んぼだけ、雑草の量が半端じゃない！初めに除草機を引いて回ったのですが、数日後には一面雑草だらけ。そこで、たまたま遊びに来ていた従兄弟カップルも一緒に手で除草することに。田んぼに両手をつっこんで泥をゆさゆさと揺らすことで、既に根を張ってしまっている雑草を浮かそうという作戦です。もちろん、たくさんの草が浮いて流れました。でも、何しろ半端じゃない量の草ですから、流れたのもあれば、しぶとく残ったのもあったようです。また数日後には信じられないほどの草。ここの対策をどうするかは、現在思案中。ちなみにこの従兄弟、ミュージシャンです。DOOBEEES(ドゥービーズ)というグループでCDも出していますので、もし良かったら調べてみて下さいね。DJをやっているというガールフレンドも、かなりキツイ仕事を笑顔でこなし、「また来ます！」と言って帰って行きました。恋愛農法だけに、ラブラブカップルが草取りしてくれたら、今年は大豊作になるはず！？



お茶摘みもしました。今日で製茶工場がおしまい、というギリギリの日に摘んだので、朝から体調の悪かった三男を背負いながら決行！1年ぶりに訪れていた父が、お茶の木に絡んだツルや草を取り除いてくれました。できるだけ新芽だけを刈っているつもりが、小枝や硬くなった去年の葉っぱも一緒に入ってしまう。これを取り除くのが一苦労。結局、工場が閉まる直前に持ち込み、どうにかお茶を作ることができました。

山好きの父が来たので、近所の子供たちも誘って家族みんなでハイキング！最盛期の晴れた日に休むなんてめったにないことですが、ハイキングには最高の季節&天気！阿蘇山中腹の「倶利伽羅不動」を目指しました。目的地近くまで舗装された牧道があり、子連れには嬉しいコース。最後にちょっとだけ険しい山道があるので「お～、登った！」という気になれて満足度たっぷり。帰りに清水滝で足を冷やして一休み。地元にいるとなかなかハイキングなど行きませんが、こんないいところが近くにあったんだ、と改めて発見しました。



その他にもあぜの草を切ったり、牧草を刈って運んだり、梅を取ったり、菜園の手入れをしたり...。家族みんなで日々精を出しております。そうそう、2頭の子牛も生まれました。まだ書き足りないほどですが、あまり長いと迷惑かと思しますので、この辺で。5月22日が結婚記念日で13年目に突入。喧嘩もしますが、恋愛農法のおかげでラブラブです！長文を最後までお読み頂き、ありがとうございました。どうぞ皆さまお元気でお過ごし下さい。

